

## 2

### 文学的文章(1)

学習のねらい

- ① 省略部分を記述する
- ② 登場人物の心情を記述する

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) ガンドーがんと。大型のノコギリ。  
そそぎすすぎ。

〈水上勉「閑話一滴」より〉

庫裡 寺の台所。寺の住職や家族などの居間。  
粹人 風流な趣味をもつ人。

□(1) 線③～④のカタカナを漢字に直して書きなさい。

㉓	㉔
㉕	㉖

□(2) 線①「飯場」とありますが、ここではどういう意味ですか。「木挽きが」という形で、三十文字以内(句読点も字数に数えます)でわかりやすく説明しなさい。

木	挽	き	が

□(3) 線②「さっきの話し声はと気にしていると」がありますが、「話し声は」のあとに省略された言葉があると考えられます。考えて十五文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

話し声は


□(4) 線③「子供心にも不思議に思えたが、考えてみると不思議ではなかった」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□① なぜ「子供心にも不思議に思えた」のですか。その理由を、三十文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□② なぜ「考えてみると不思議ではなかった」のですか。その理由を、二十文字以上三十五文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(5) 線④「いまも臉にあって、涙をおぼえる」とありますが、それはなぜですか。二十文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(6) 線⑤「いったい、そのスローガンを唱える人たちの中で、心から木にもを語りかける者がいるだろうか」とありますが、筆者は「そのスローガンを唱える人たち」と比べて、自分の「父」はどうだったと考えていますか。「そのスローガン」が何を指しているかを明らかにした上で、五十文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(注)

ききょう || キキョウ科の多年草。

灌木 || 低木。

吹きおられた || 吹いて痛め苦しめられた。

ふすま || 掛けぶとん。

たゆたっている || ただよっている。

〈幸田文「季節のかたみ」より〉

一 抹去来する 〓 ほんの少し心を行き来する。  
反故 〓 書画などを書き損じて不用となった紙。

□(1) — 線① 「土のふすまを深々と、また来年まで、と名残惜しさが尾を引

いて」とありますが、これは、「土のふすまを深々と」①、また来年

まで ②、「と名残惜しさが尾を引いて」のように書き換えることが

でき、二カ所省略があると考えられます。それぞれのに入る適切な

ことを、①は五字以内、②は十字以内で答えなさい。

②	①

□(2) — 線② 「お互いさまに仕方のないことだろう」とありますが、何が、

なぜ、「仕方のないこと」のですか。「だろう。」という形で、三十

字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(3) — 線③ 「新居はどこことなくそう寒いような気がする」、④「なんだか

充実していないような、すきまだらけのような気がして、落ち着かないん  
です」とありますが、「私(筆者)」は、彼らがそう感じるのなぜだと思  
っていますか。四十文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(4) — 線⑤ 「一 抹去来するもの」とありますが、何が「去来する」のです  
か。三十文字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(5) — 線⑥ 「もしこれを注意されなかったとしたら、どんなに恥ずかしい  
お別れのしようをしたかと思う」とありますが、「恥ずかしいお別れのし  
よう」とは、どんなことですか。「別れること。」という形で、四十

字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(6) — 線⑦ 「白い小菊がたくさん入れてあった」とありますが、だれが、  
何のために、こうしたのですか。二十文字以内(句読点も字数に数えます)で  
答えなさい。
